

今年の一文字「想」を発表

◎秘書課 ☎36・7117

染谷市長は、1月5日の定例記者懇談会で、新年の抱負を表す一文字「想」を発表しました。

市長は、自ら書いた色紙を掲げ「想い・理想・発想・想定をキーワードに、市職員一丸となって、市民に寄り添った市政運営を行っていく。コロナ禍や自然災害による変化を受け入れ、市民のために何ができるかを考えなければならぬ。危機管理を常に想定し、行動する」と、新年の抱負を述べました。



今年の一文字を手に抱負を語る染谷市長

スポーツ振興に関する包括連携協定を締結

◎スポーツ振興課 ☎36・7219

市は1月29日、ランニング専門誌の発行や、全国各地のマラソン大会の運営サポートを手掛ける、(株)アービーズと「スポーツ振興に関する包括連携協定」を締結しました。

協定締結式は、オンラインで開催。代表取締役社長の橋本治朗氏は「スポーツを通して、市と共に地域社会を盛り上げていきたい」とあいさつしました。今後は、同社が持つ健康の維持・増進活動によるノウハウなどを活用し、市のスポーツ振興事業に協働で取り組んでいきます。



オンラインで協定書を交わす染谷市長(左)と橋本社長(右)

市役所の仕事始めを動画ライブ配信で初実施

◎秘書課 ☎36・7117

1月4日、新年の仕事始め式を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策として、YouTubeによるライブ配信を実施。例年は、200人以上の職員が会議室に参集していましたが、今回はそのほとん

どが自席で動画を視聴しました。

染谷市長は「アフターコロナを経た10年先の島田のために、いま、何を選択するか」という私たちに課せられた任務を、常に意識して業務を遂行してください」とあいさつ。続けて、今年1年の市政に対する意気込みなどを話しました。

広報しまだが県広報コンクール最優秀賞を受賞

◎広報課 ☎36・7118

県と県広報協会は、1月19日に「令和2年度静岡県広報コンクール」の審査会を開催。昨年発行した広報しまだ9月号が広報写真(一枚写真)の部門で最優秀賞を、11月号が広報紙(市)の部門で優秀賞を受賞しました。同コンクールでの最優秀賞受賞は、10年連続となります。

審査会では、県内の市町や団体が昨年中に発行した広報紙・広報紙掲載写真・公開した広報映像などの、表現力や企画力、デザイン性などを評価し各賞を決定。今年度は、計6部門96点の応募がありました。

審査員からは「笑顔の二人を大胆なアップで生き生きととらえている。香りがあふれてくるよう(9月号)」「特集の企画・構成力、写真などの素材、レイアウトのいずれも秀逸(11月号)」などと評価されました。



11月号(広報紙・優秀賞)



9月号(一枚写真・最優秀賞)

最優秀賞の9月号(表紙)は、4月に行われる(公社)日本広報協会主催の「令和3年全国広報コンクール」に県代表として推薦されます。今後も、皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりに励みます。

中部保健所へ保健師8人を応援派遣

☎健康づくり課 ☎34・3281

市は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、業務が逼迫する中部保健所に、保健師を派遣しています。

職員は、1月9日から2月26日までの間、1週間交代で1人ずつ、中部保健所の業務に従事。県の保健師と協力し、感染源や濃厚接触者の特定、健康観察などについて、電話で聞き取り調査などを行っています。天野由美子技監は「相手の気持ちに寄り添い、少しでも不安を軽減できるよう、業務に取り組みたい」と話しました。



1月に中部保健所へ派遣された保健師

明治安田生命保険相互会社が協賛金を寄付

☎観光課 ☎36・7394

（株）川根町温泉は1月6日、川根温泉ふれあいの泉で、明治安田生命保険相互会社静岡支社から、イベント協賛金を受け取りました。

同相互会社は「健康」をテーマとして、健康入浴法クイズなどを設けた1月の温泉イベントに賛同。来館者に元気と安心を届ける一助となるよう、協賛金を寄付しました。

同温泉は、源泉が平成6年12月23日に開湯したことちなみ、毎月23日を「温泉感謝デー」として、さまざまなイベントを開催しています。



協賛金を寄付する石田純一支社長(左)

学校施設跡地の利活用などについて意見を交換

☎教育総務課 ☎36・7952

市は1月22日「第2回 島田市総合教育会議」を開催。市長と教育長、教育委員により、学校施設跡地利活用の現状などが話し合われました。

会議では、事務局より北中学校、湯日小学校、北部4小学校の跡地利活用の現状を報告。公募型プロポーザル方式で利活用案を募集した湯日小学校は、アイワ不動産の「グランピング」を核にした提案内容が示され、委員から、早期の事業進捗に期待を寄せる意見があがりました。



学校施設跡地の利活用について意見をのべる委員

静岡県LPガス協会が防災機材を寄贈

☎危機管理課 ☎36・7320

1月22日、静岡県LPガス協会から台風などの風水害が発生した際に、避難した地域住民のために避難所で役立てて欲しいと、市に防災機材（低圧LPガス発電機、炊き出しセット）が寄贈されました。

寄贈式に出席した森峯雄会長は「多発する自然災害に備えて、地域防災に協力・貢献していきたい」とあいさつ。染谷市長は「被災された人にとって、明日につながる大きな希望になる。ぜひ有効に活用したい」と感謝の言葉を述べました。



防災機材を寄贈する森会長(右から4番目)